

重要事項説明書

1. 事業の目的及び運営の方針

(1) 事業の目的

グループホームきたじま苑（以下「事業所」という）は、指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護（以下「事業」という）について、要介護者であって、認知症の状態にあるものに対し、適切な(介護予防)認知症対応型共同生活介護を提供することを目的とします。

(2) 運営方針

事業所の介護従業者は、共同生活において、家庭的な環境の下で、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように介護・支援を行います。事業の実施に当たっては、関係市町村・地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供ができるように努めます。

2. 職員の職種、人数及び職務内容

事業所に勤務する従業員の職種、員数及び職務内容は、次のとおりとします。

職種	人数	職務内容
開設者	1 人	事業所の統括的な管理を行う
管理者	1 人	事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行います
計画作成担当者	2 人	利用者それぞれの心身の状況に応じた介護計画の作成を行います
介護従業者	常勤 8 人以上	利用者に対し必要な介護及び支援を行う

3. 指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護及び介護予防の利用定員

利用定員 18 名（全室個室）

4. 指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護及び介護予防の内容

指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護及び介護予防の内容は次のとおりとします。

- ① 入浴（原則として毎日可能）、排せつ、食事の介護
- ② 日常生活上の世話

5. 介護保険適用の有無

上記の①～②の内容は、介護保険の対象となるものです。

6. 利用料及びその他の費用の額

指定(介護予防)認知症型共同生活介護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、次のとおりです。

(1) 利用月額

内 訳	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
介護保険負担(1割)	749円	753円	788円	812円	828円	845円
介護保険負担(2割)	1,498円	1,506円	1,576円	1,624円	1,656円	1,690円
介護保険負担(3割)	2,247円	2,259円	2,364円	2,436円	2,484円	2,535円
住居費	月額45000円					
食事代	月額30000円 (おやつ代を含む・1日3食1000円) 内訳 朝300円 昼350円 夜350円					
水道・電気・日用品費	月額20000円					
合計(1割)	117,470円	117,590円	118,640円	119,360円	119,840円	120,350円
合計(2割)	139,940円	140,180円	142,280円	143,720円	144,680円	145,700円
合計(3割)	162,410円	162,770円	165,920円	168,080円	169,520円	171,050円

(2) その他必要に応じて下記の加算を徴収致します。

加 算	要 件及び単位数
初期加算	入居した日から起算して30日以内の期間 30単位/日
介護職員処遇改善加算 (Ⅱ)	算定単位数×17.8%に相当する単位数
医療連携体制加算 (Ⅰ)	看護師を1名以上確保している 37単位/日
医療連携体制加算 (Ⅱ)	医療連携体制加算(Ⅰ)のいずれかを算定している 5単位/日
入院時費用	入院後3か月以内に退院することが明らかに見込まれるとき、1月に6日を限度として所定単位数に代えて246単位/日
看取り介護加算	死亡日以前31日以上45日以下については 72単位/日 死亡日以前4日以上30日以下については 144単位/日 死亡日の前日及び前々日については 680単位/日 死亡日 1280単位/日

※ 月途中に入居される場合は当該月の居住日数に応じて上記日額利用料を支払って頂きます。

※ (1) 利用額の合計は介護保険負担金等の料金は1ヶ月を30日で計算した場合のものです。

※ 教養娯楽費等で使用するレクリエーション材料費等は実費負担となります。

(2) その他の費用

- ① おむつ代、理美容代、医療費、嗜好品など個人的にご利用になる費用は、利用者本人の負担とします。
- ② 買物に出かける機会もございますので、お小遣いをご用意下さい。

7. 入居にあたっての留意事項

利用者は、入居にあたって次の事項に留意するものとします。

- ① 面会の時間について
感染症防止の為、体調の悪い場合はご遠慮ください。
面会の際にはその都度職員に連絡してください。面会時間は10:00～18:30です。
上記時間以外の場合は必ず事前に相談をしてください。
- ② 3ヶ月を超える入院の場合には退居とさせていただきます。(入院中は住居費のみご負担いただきます。)
- ③ 契約解除は、1ヶ月以上の予告期間をおいて文書で通知してください。病気の急変などやむを得ない事情がある場合は、日割り計算となります。
- ④ 外出・外泊は必ず行き先（または宿泊先）と帰宅時間を職員にお伝えください。
- ⑤ 飲酒・喫煙は決められた場所で行うものとします。
- ⑥ 施設内での火気の取り扱いを行わないでください。
- ⑦ 設備・備品の利用は、本来の使用方法に従って利用してください。
- ⑧ 所持品・備品の持ち込みは自己管理とします。ただし自己管理が困難な場合は事業所に届け出て、事業所にて管理することができます。
- ⑨ 金銭・貴重品等の管理は自己管理とします。ただし自己管理が困難な場合は事業所に届け出て、事業所にて管理することができます。
- ⑩ 外泊時等施設外にいる時に医療機関の受診を希望する場合は職員に連絡してください。
- ⑪ 入所者の営利行為、宗教の勧誘、特定の政治活動は禁止します。
- ⑫ 病院受診については、原則としてご家族に同行して頂きます。
- ⑬ 他の利用者への迷惑行為は禁止します

8. 医療との連携・健康管理

- ① 事業所の介護職員・看護師は、常に利用者の健康の状況に注意するとともに、健康保持の為に適切な措置をとる。
- ② 通常時及び利用者様の状態悪化時に医療機関（主治医）との連絡・調整を行う。
- ③ 通院に関しては、ご家族等が通院介助を行うことが困難な場合には、当事業所の職員がご家族等に代わって行うこととします。ただし、協力医療機関以外に通院する場合の通院介助は、原則としてご家族等が行うこととします。
- ④ 看護師と24時間連絡可能な体制をとり、入居者の急変時の対応、健康管理を行うものとする。
 - (1) 朝・夕のバイタル測定、健康管理をし、早期に特変者を発見する。
 - (2) 体調異常者の観察をし、適切な処置を行う。

9. 緊急時等における対応方法

- ① 緊急時における対応
介護従業者は、介護を実施中に、利用者の病状に急変やその他の緊急事態が生じたときには、速やかに協力医療機関及び主治医に連絡するなどの措置を講じるとともに管理者に報告します。また、管理者と24時間常時連絡可能な体制を維持します。
- ② 事故発生時の対応
介護従業者は、介護を実施中に、利用者に事故が生じたときには、速やかに協力医療機関及び主治医に連絡するなどの措置を講じるとともに管理者に報告します。また管理者と24時間常時連絡可能な体制を維持します。また、市町村に報告すべき事故に該当するものについては所要の報告を行います。

10. 協力医療機関

- ① 協力医療機関 笛吹中央病院・一宮温泉病院・八代戸田内科クリニック
 ② 協力歯科医療機関 たけい歯科

1 1. 非常災害対策

消防用設備	スプリンクラー設備
	自動火災報知設備及び火災報知装置
	誘導灯及び誘導標識
	消火器
消防計画	消防署への提出：令和 7 年 4 月 1 日
	防火管理者：北嶋 良明
	内 容：避難訓練 年 2 回
	：通報訓練 年 2 回
	：消火訓練 年 1 回実施

1 2. 苦情申立の制度

- ① 利用者からの相談または苦情に対応する常設の窓口
 介護相談や苦情に対する常設の窓口として、担当者を設置します。担当者が不在の時は専用の書式に記入し、担当者への引き継ぎを行います。

苦情相談窓口 担当：北嶋 良明
 TEL：055-269-6383

- ② その他、市町村や国民健康保険連合会窓口で苦情を申し立てることが出来ます。

外部への連絡先

山梨県国民健康保険連合会 介護保険課 TEL：055-233-9201
 笛吹市 介護保険課 TEL：055-261-1903

- ③ ご意見箱等に受け付けられた苦情等、およびホーム窓口にお申し出いただいた苦情等については、まずホーム内で検討し早期解決・改善を図っていきます。
 またホーム単独で解決することが難しいものについては、法人全体で対応を協議するほか、運営推進会議等を活用することにより解決・改善を図っていきます。

- ④ 検討結果については、お申し出いただいた方のご要望、または必要性に応じて適宜その内容をお伝えいたします。（匿名の場合は除きます）

1 3. 身体拘束について

利用者又は他の利用者等の身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束を行いません。緊急やむを得ず身体拘束を行う場合は、その様態及び時間、その利用者の心身状況並びに緊急やむを得ない理由を説明し、ご家族の同意を得た上で行うものとし、またそれらを記録し、いつでも開示に応じるものとする。

1 4. 自己評価および外部評価

当グループホームにおいて提供されるサービスの質の評価（自己評価）を行うとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、それらの結果を公表します。

＊外部評価の実施状況

実施の有無	有り
直近の実施日	令和7年10月9日
評価機関名称	山梨県社会福祉協議会
評価結果の開示	当ホームの事務所にて開示（閲覧用ファイル）

15. その他重要事項

① プライバシーの秘密保持

従業者は業務上知り得た、利用者様またはその御家族のプライバシーを保持します。また、従業者であった者に業務上知り得た、利用者様またはその御家族のプライバシーを保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらのプライバシーを保持するべき旨に従業者との雇用契約の内容に含みます。

② サービス担当者会議等での情報利用制約

利用者様に適切なサービスを提供するために開催するサービス担当者会議等の場においては、改めて利用者様及びその家族に同意を得ることなく必要最小限の個人情報を用いることがあります。

③ この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、グループホームきたじま苑の管理者との協議に基づいて定めるものとします。

④ 行政機関への手続きが必要な場合、利用者や代理人の状況により管理者が代行します。

(グループホーム)

事業 者 名 称	有限会社 北嶋	
主たる事務所の所在地	山梨県笛吹市八代町北 1 6 1 6 - 1	
代 表 者 名	代表取締役 北嶋 良明	
電 話 番 号	0 5 5 - 2 6 9 - 6 3 8 3	
介護保険法に基づき、知事から指定を受けている、事業所コード (事業所コード： 1 9 9 1 8 0 0 0 3 6 号)		事業所名 グループホームきたじま苑
重要事項説明者		

年 月 日

この説明書により（介護予防）認知症対応型共同生活介護サービスに関する重要事項の説明を受け、了解致しました。

利用者 住所 _____

氏名 _____ 印

利用者の代理人 住所 _____

氏名 _____ 印
(利用者との関係)